

科目	日本史A	単位数	2	学年	2	学級	全	学科	全
----	------	-----	---	----	---	----	---	----	---

学習の到達目標	日本の近代、現代の歴史の変遷を政治、社会、文化、国際関係などの視点から学び、国際社会の一員としての日本が今日、果たすべき役割について様々な歴史認識を踏まえて考える。
使用教科書 副教材等	教科書：「日本史A」（山川出版） 副教材：「新詳日本史」（浜島書店）

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	序章 近世社会の動揺と近代への始動	江戸時代末期、日本をとりまく世界が変容し、以降は日本独自の発展はありえなくなってきたことを理解させます。
	5	第1章 開国と明治維新	江戸幕府が滅亡し、欧米の文化を吸収して近代日本がどのように形成されていったかを考えます。
	6	第2章 立憲国家の成立	日清・日露という二つの戦争を経て、日本が国際社会に認められるようになったことをアジア及び欧米諸国との関係に着目し考えます。
	7 9	第3章 第1次世界大戦と日本	国際社会の中の日本の立場に着目し、第一次世界大戦前後の対外政策と大戦が国内に及ぼした影響について考えます。
後期	10	第4章 昭和の恐慌と満州事変	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る歴史について、世界情勢と国内の動きを関連付けることで、世界的視野から幅広く考察します。
	11	第5章 第二次世界大戦と日本	
	12		国内政治と経済の動揺、軍部の台頭、戦時体制の強化など第2次世界大戦と日本とのかかわりについて考えます。
	1	第6章 占領下の日本	第二次世界大戦後の国際関係の推移に着目し、占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立など我が国の再出発とその後の政治の推移と新しい外交関係の確立について考えます。
	2	第7章 経済繁栄と保守長期政権	
3	第8章 現代の世界と日本	現代の日本について、世界の動向、国際関係の推移と関連付けて考察し、我が国がいかに国際社会に貢献するべきか、その課題と役割について認識します。	
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	日本の近代から現代までの歴史の変遷と国際社会との関わりについて関心を持ち、意欲的に取り組んだか。	
	思考・判断・表現	日本の近代から現代までの歴史について、広い視野にたつて多面的に考察するとともに、日本を取り巻く国際情勢について、客観的に認識することができるか。	
	資料活用の技能	日本の近代から現代までの歴史について、いろいろな資料を様々なメディアを通じて身に付け、考察した過程や結果を自分の言葉で適切に表現できるか。	
	知識・理解	日本の近代から現代までの歴史について、基本的な事項の原因と結果、人名、場所等について、その知識を身につけているか。	
	評価方法	前後期ともに中間考査、期末考査を実施し、その平均点を考査点とする。各学期とも考査点を約80%とし、残りを平常点(提出物、授業態度、出欠状況等)とする。	
担当教諭から	歴史的事象について、常に「なぜなのか？」という疑問を持つことが大切です。要するに、「考える日本史」であって欲しいと思います。		